

本県における「つまもの」の生産販売状況について

園芸農産課

愛知県は、「大葉」を始め、刺身に添えられる「食用ぎく」や「しその花穂」、食べられる花「エディブルフラワー」など、「つまもの」の生産が盛んです。主要な産地は東三河地域で、園芸用施設を使って一年中生産・出荷しています。愛知県つまもの振興協議会の2024年度の販売額は170億円を超え、日本一の産地となっています。今回は本県における近年のつまもの類の生産販売状況を報告します。



愛知の「つまもの」

1 愛知県つまもの振興協議会について

愛知県つまもの振興協議会（事務局：JAあいち経済連）は、「つまもの」の生産・販売を行う6組合で構成されており、363戸の会員がいます（表1）。各組合の協力のもと、共同販売、消費拡大、担い手育成等に取り組んでいます。

2025年7月18日（金）には協議会会長らが知事を訪問し、「あいちのつまもの」をPRしました。

表1 愛知県つまもの振興協議会の構成（2025年）

組合名	主産地	戸数	主な作目
豊橋温室園芸農業協同組合	豊橋市	214戸	大葉、食用ぎく、しその花穂等
東三温室園芸農業協同組合	豊川市	82戸	大葉、食用ぎく、ハーブ類等
三河温室園芸組合	蒲郡市	37戸	食用ぎく等
ひまわり農業協同組合	豊川市	17戸	大葉
豊橋農業協同組合	豊橋市	5戸	大葉
愛知みなみ農業協同組合	田原市	8戸	大葉

2 つまもの生産販売状況について

「つまもの」の代表的な品目である「しそ」（「大葉」は施設で栽培する青しそをいう）の産出額は愛知県が全国1位です（表2）。

つまものの販売は、2020年以降のコロナ禍の需要減少に伴い低下しましたが、2024年度の販売額は前年を9.3%上回る170億7000万円で、コロナが終息したことにより販売状況が好転しています（表3）。生産面では、夏期高温対策やヒートポンプの導入等により、周年で安定的に生産できるよう取り組んでいます。

表2 しそ産出額の全国順位※

順位	県名	産出額（億円）
1	愛知	139
2	大分	16
3	福岡	5
全国計		193

※ 生産農業所得統計（2023年）

表3 近年の「つまもの」の販売実績※

（百万円）			
年度	大葉	その他つまもの	合計
2024	12,137	4,933	17,070
2023	11,118	4,497	15,615

※ 愛知県つまもの振興協議会実績